

は じ め に

急速な少子高齢化の進行や人口減少とともに、経済格差や物価上昇等に伴う生活困窮、また地域社会の絆の希薄化等により福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。特にコロナ禍の影響を受け、依然として就労状況が不安定なために経済的困窮となったり、引きこもりになっていくというような生活課題を抱える方が地域には少なからずおられます。

播磨町社会福祉協議会（以下「当会」といいます。）では、日常の相談支援でそれらの方々の悩みや不安に寄り添いながら、食糧支援や家計の整理、そして就労につながるような関係機関と連携を図りながら、相談者の生活安定に向けた継続的な支援に力を入れてきました。

このような状況の中、当会は地域福祉を推進する中核的団体として、令和 6 年度、地域住民や関係団体の皆さんとともに第 6 次地域福祉推進計画を策定しました。この計画については、播磨町地域福祉計画で示された地域福祉推進の方向性について、地域の皆さんと連携・協力しながら、当会が播磨町の地域福祉をどのように進めて行くかを具体的に示したものとなっています。

播磨町に住む誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らせることができるよう、これまでの個別の相談支援の取り組みを活かしながら、住民相互の「支えあい」や「助けあい」といったつながりを育む各事業について、第 6 次地域福祉推進計画に沿って実施することで播磨町の地域福祉をさらに推進していきます。

事 業 方 針

1. 播磨町での包括的な支援体制づくりに向けた連携と協働
2. 地域での住民による多様な協議の場の創出と小地域福祉活動への寄り添い
3. 在宅生活を支える介護保険・障害福祉・在宅福祉サービスの安定的な提供

重 点 目 標

1. 播磨町の「地域福祉計画」が目指す「誰もが排除されず、つながりを持ち続け、いきいきと暮らせるまち」の実現に向け、本会が策定した「第 6 次地域福祉推進計画」で「一人ひとりのあい（合い、愛、I、eye）をつなぎ はりま愛あふれる 暮らしをはぐくむ」を基本理念を掲げ、地域住民の皆さんと地域福祉を推進していくとともに、複雑多様化する地域課題を組織内部署連携と地域の諸団体・行政・多機関と連携しながら、相談支援のネットワークにより課題解決に取り組めます。
2. 住民の皆さんにとって身近な生活圏域である自治会域での見守りと支え合いに取り組む「支え合い連絡会」、コミセン域でのつながりと支え合いの活動の仕組み「話し合い＆協働の会」活動への伴走支援を行います。また地域での様々な居場所活動に寄り添い、新たな居場所の立ち上げ支援を行い、ボランティア活動・住民活動の充実とやってみたいの実現による参加支援、住民がともに助け合うことで誰もが地域の一員として自分らしく暮らせる地域づくりを推進していきます。
3. 住民の皆さんを会員とする社会福祉協議会として、会員が住み慣れた自宅や地域で生活が継続ができるように、介護保険・障害福祉サービス、在宅福祉サービスを提供することで支援します。また安心してご利用いただけるように、利用される方のニーズに添うようにサービスの質の維持と向上を図ります。